

「この気持ちはなんだろう・・・」 ～春待ちの風景～



3月1日卒業式での担任団。安堵した表情が実に印象的

3月中盤。高校現場は卒業式・0学期授業・後期選抜と、慌ただしい日々が続いています。温暖化の影響か、ここへきてまたもやいわゆるカミユキの影響で冬真ただ中の時よりも多い雪に見舞われています。冬と春の混在する季節・・・日本と同じく四季のあるエストニアの一部地域には「第五の季節」と呼ばれる特別な季節があり、長く暗い冬と春の間にあると言われます。雪解け水が引き起こす洪水の時期だそうでもともとあった歩道や植物が水に隠れ湖のように見えてしまうというものだそうです。そんな季節がある地域でもやはり**待ち遠しいのが「春」**。どうして心躍るのか不思議ですね。終業式で生徒たちにもそんな話をしたいと思っています。令和6年を振り返り穏やかな春を待ちたい今日この頃です。

←先生方も「探究」しています！国語の嶋田先生の所属する会の書展「松本・かな美の書展」を拝覧。何歳になっても**「好き」**を追究したい・・・私も同じです！



大人の「好き」の追究。

私が指揮する団の春待ちコンサート。雪深い飯山にて国語科:嶋田先生「松本・かな美の書展」にて作品展示

「春に」 谷川俊太郎 詩

この気持ちはなんだろう この気持ちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが 大地から足の裏を伝わって
この気持ちはなんだろう この気持ちはなんだろう
ぼくの腹へ胸へそしてのどへ 声にならない叫びとなって
こみあげる この気持ちはなんだろう
枝の先のふくらんだ 新芽がころころをつつく
喜びだ しかし悲しみでもある 苛立ちだ しかも安らぎがある
憧れだ そして怒りが隠れている
心のダムに堰き止められ よどみ渦巻きせめぎ合い
今あふれようとする
この気持ちはなんだろう この気持ちはなんだろう
あの空のあの青に手をひたしたい
まだ会ったことのない全ての人と 会ってみたい話してみたい
明日と明後日が一度にくるといい ぼくはもどかしい
地平線の彼方へと歩き続けたい そのくせじっとしていたい
この草の上でじっとしていたい
声にならないさけびとなって こみ上げる
この気持ちはなんだろう



芸術は、「見ていただくこと」でレベルアップします！